



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成 29 年 10 月 20 日

環境大臣 中川 雅治 殿

株式会社 資生堂

代表取締役 執行役員社長 兼 CEO

魚谷 雅彦

資生堂グループは、「美しい生活文化の創造」を企業使命としています。
美しさを通じて人々が幸せになるサステナブルな社会の実現を目指して、
以下の取り組みを進めてまいります。

1. 容器包装の3R (reduce, reuse, recycle)をはじめとする商品の環境対応を積極的に推進します。

- ① 当社独自の環境設計基準である「資生堂エコスタンダード」を改訂し、これに則って商品の環境対応度を高めます。調達、生産、物流、販売、廃棄まで含めたライフサイクル全体での環境負荷低減にも取り組みます。
- ② 限りある石油資源の節約、CO₂排出量削減をねらいに、2011年度より導入した植物由来ポリエチレンへの切り替えに加えてメカニカルリサイクルペットなども採用し、2030年までに容器包装に使用している樹脂の100%をサステナブルなプラスチックにしていきます。

2. 価値づくりの源泉である地球の恵みの保全に積極的に取り組みます。

- ① 原料の調達から生産、物流、販売、お客さまのご使用、廃棄にいたるすべてのプロセスにおいて、生物多様性の保全（地球の恵みの保全）に配慮し、持続可能な資源の活用を目指します。
- ② 2010年よりRSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil : 持続可能なパーム油のための円卓会議) に加盟し、持続可能なパーム油の利用に向け、国内全工場にてサプライチェーン認証を取得していきます。
- ③ 長崎県五島列島での椿の植林・保全活動では、商品の原料である椿油の産地で社員自らが椿を守り育てる活動を行い、その実から再び高品質な椿油を採取し商品に配合するという、事業活動と一体となった取り組みを推進し、サステナブルな資源利用につなげます。
- ④ 「資生堂グループ・サプライヤー行動基準」に則った調達を推進し、お取引先さまとともに環境に取り組みます。

3. 環境教育に取り組み、地球の恵みの保全に貢献する人材を育成します。

- ① 社員に対するイントラや会議などでの情報発信に留まらず、自然の中での体感を通じた環境教育を推進することで、当社の商品が地球の恵みを享受してつくられていることへの理解と地球の恵みを大切に思うマインドの醸成を促進します。
- ② 銀座本社ビルの屋上庭園「資生の庭」では化粧品の原料植物を栽培して地球の恵みを慈しむ心を育てる環境教育を社員向けに実施するとともに、地域の教育機関と連携して生物多様性や自然の摂理を学ぶ場として活用してまいります。

4. 地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

全事業所での取り組みを通じて、事業活動全体のCO₂排出量削減に取り組みます。
国内全事業所では、CO₂排出量を2030年度までに26% (2009年度比) 削減します。

株式会社 資生堂は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、環境省への報告ならびに、ウェブサイトなどによる公表を行ってまいります。

SHISEIDO